

教科	数学	科目	数学A	単位数	2	学年	1 年
教科書 (出版社)	最新 数学A (数研出版)						
副教材 (出版社)	REPEAT 数学 I + A (数研出版)						

科目の目標 (育成したい資質・能力)

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよ	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価方法の例	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・小テスト ・定期考査 ・レポートの記述 ・探究活動の内容 ・学習状況の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・課題、ノート等の記述 ・自己評価 ・振り返り ・発表

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	第 1 章 場合の数と確率	集合の要素の個数, 順列, 組合せ 確率
2 学期	第 2 章 図形と性質	三角形の性質, 円の性質, 作図, 空間図形
3 学期	第 3 章 数学と人間の活動	約数と倍数, 1 次不定方程式, 記数法, 座標の考え方

学習方法	数学は、毎日コツコツと取り組むことが大切な教科です。苦手意識を持っている人も多いと思いますが、毎日取り組むことで、苦手を克服できます。まずは、たくさんの問題に触れることから始めて下さい。
ICT活用	スタディエイドビューア (課題配信)、ドキュメント (レポート)、スライド (発表資料・まとめ) スプレッドシート (データ整理)、ジャムボード (意見集約・まとめ)、Forms (小テスト・振り返り・アンケート)

教科	音楽	科目	音楽 I	単位数	2	学年	1 年
教科書 (出版社)	MOUSA① (教育芸術社)						
副教材 (出版社)	なし						

科目の目標 (育成したい資質・能力)

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽には曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景と深い関わりがあることを理解し、様々な音楽についての理解を深めている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な発声法及びアンサンブルの技能を身につけ、各表現をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚や感受したこととの関わりを考え、自己のイメージをもって表現活動を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や文化と様々な方向から関わり、音楽や様々な音楽文化について、主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞や創作の諸活動に取り組もうとしている。
評価方法の例	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・定期考査 ・小テスト ・課題の記述 ・学習状況の観察 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・定期考査 ・小テスト ・課題の記述 ・学習状況の観察 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・定期考査 ・小テスト ・課題の記述 ・学習状況の観察 ・自己評価 など

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○曲にふさわしい発声で歌おう ○曲の良さや美しさを探ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語歌曲「校歌」「翼をください」 ・楽譜の読み書き/ボディーパーカッション ・外国語の歌「O sole mio」
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○楽器を演奏しよう ○世界の音楽を味わおう ○日本の歌を歌おう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギター「日曜日よりの使者」 ・オペラ「カルメン」 ・鑑賞「世界の諸民族の音楽」 ・日本歌曲「この道」「赤とんぼ」
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ミュージカルを歌おう ○作曲家の生涯と作品を辿ろう ○身近な音楽を楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカル「キャッツ」「美女と野獣」 ・「クローズ・アップ・マエストロ」 ・ポピュラー音楽

学習方法	芸術は感性を磨き、人生をより豊かに美しく生きていくために大切なものです。音楽をはじめ幅広い文化や芸術に触れたり、感じ取り考えることを通して、理解を深め、感じたものや考えたことを表現しながら、音楽を楽しんで活動していきましょう。
ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽鑑賞 ○創作 Chrome Music Lab☑

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2	学年	1 年
教科書（出版社）	未来へつなぐ 家庭総合365（教育図書）						
副教材（出版社）	2023年度家庭科学習ノート（熊本県高等学校教育研究会家庭部会）						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解し、それらに係る技能を体験的・総合的に身につける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画している。生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。
評価方法の例	・定期考査 ・単元テスト ・小テスト ・実技 など	・定期考査 ・単元テスト ・小テスト ・ワークシート ・レポート など	・学習状況の観察 ・課題等の内容 ・レポート など

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	A編 第1章 生涯の生活設計 A編 第2章 青年期の自立と家族・家庭 A編 第4章 高齢期の生活と福祉 A編 第5章 共生生活と福祉	①あなたの将来、どうする？ ①自立への一歩を踏み出そう ②家族・家庭って何？ ③将来の自分と家庭を想像する ①高齢者ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる ①共生って何だろう？
2 学期	A編 第5章 共生生活と福祉 B編 第1章 食生活と健康	②ノーマライゼーションとは ①なぜごはんを食べるの？ ②私たちは何を食べているの？ ③安全に食べよう ④健康に食べよう（調理実習含む）
3 学期	B編 第1章 食生活と健康 A編 第3章 子どもの生活と保育	④健康に食べよう（調理実習含む） ⑤おいしく食べよう ⑥これからも食事を楽しむために ①子どもはどう生まれ育つ？ ②子どもとどうかかわろう？（保育実習予定） ③これからの子育てとは？

学習方法	私たちは、家族や友達・地域の人とのかかわりや、衣食住などを通して、社会と深くつながっています。毎日の生活を振り返り、問題点をみつけて改善することで生活を豊かにし、自立した生活を送るための準備をしましょう。
ICT活用	ドキュメント（レポート）、スライド（発表資料）、ジャムボード（意見集約・まとめ）、Forms（小テスト・振り返り・アンケート）、classroom（課題提出）、meet（発表）